

# 2013 年 IEEE 東京支部 総会資料

2013 年 3 月 14 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

# 2013年IEEE東京支部総会

## 総 会

日 時： 2013年3月14日（木） 14時30分～15時00分

場 所： 機械振興会館 6階 6D-1&6D-2  
東京都港区芝公園 3-5-8

議 題：

第1号議案：2013年-2014年役員・理事選出【決議事項】

第2号議案：2012年活動報告【以下、報告事項】

第3号議案：2012年決算報告

第4号議案：2013年活動計画

第5号議案：2013年予算

## 講 演 会

日 時： 2013年3月14日（木） 15時10分～16時10分

場 所： 同 上

講演者： 高橋 常夫 氏

(エヌエフ回路設計ブロック 代表取締役社長)

(2013 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞)

演 題： 「日本のカーナビ開発と技術的意義」

## 新Fellow表彰式

日 時： 2013年3月14日（木） 16時20分～17時00分

場 所： 同 上

## 懇 親 会

日 時： 2013年3月14日（木） 17時00分～19時00分

場 所： 機械振興会館 5階 倶楽部

## 2013-2014年IEEE東京支部役員・理事

### 1. 役員

Chair	支部長	津田 俊隆	(早稲田大学)
Vice Chair	副支部長	久間 和生	(三菱電機)
Secretary	セクレタリ	千葉 勇	(三菱電機)
Treasurer	トレジャラ	高村 誠之	(NTT)

### 2. 理事会メンバー

* 津田 俊隆	(早稲田大学)	* 庄木 裕樹	(東芝)
* 久間 和生	(三菱電機)	* 羽瀧 裕真	(茨城大学)
* 千葉 勇	(三菱電機)	多田 邦雄	(東京大学)
* 高村 誠之	(NTT)	大野 光平	(東京理科大学)
* 藤代 博記	(東京理科大学)	青山 友紀	(慶應義塾大学)
* 萩本 和男	(NTT)	有本 由弘	(富士通研究所)
* 平澤 隆行	(フジクラ)	河野 隆二	(横浜国立大学)
* 馬場 俊彦	(横浜国立大学)	原崎 秀信	(NEC)

(注：\*印は、理事会のVoting Member。選挙で選出)

### 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	藤代 博記 (東京理科大学)	東脇 正高 (NICT)	原 紳介 (東京理科大学)
Fellow Nominations	萩本 和男 (NTT)	松島 裕一 (早稲田大学)	碓塚 孝明 (NTT)
Membership Development	平澤 隆行 (フジクラ)	小野 靖 (東京大学)	石川 卓哉 (古河電気工業)
Nominations	馬場 俊彦 (横浜国立大学)	植之原 裕行 (東京工業大学)	荒川 太郎 (横浜国立大学)
Technical Program	庄木 裕樹 (東芝)	CHEUNG, Gene (国立情報学研究所)	松岡 秀浩 (東芝)
Publications	久間 和生 (三菱電機)	千葉 勇 (三菱電機)	河東 晴子 (三菱電機)
Student Activities	羽瀧 裕真 (茨城大学)	眞田 幸俊 (慶應義塾大学)	大越 康晴 (東京電機大学)

## 2012 年東京支部活動報告

### 1. 支部総会

2012 年 3 月 13 日(火)、午後 2 時 30 分から機械振興会館地下 2 階ホールにおいて開催された。

参加者 40 名

- ・ 2011 年活動報告
- ・ 2011 年決算報告
- ・ 2012 年活動計画
- ・ 2012 年予算

### 2. 支部理事会

第 1 回 3 月 13 日 (火) 機械振興会館

出席者 15 名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2011 年会計報告および監査報告
- ・ 2012 年東京支部活動計画(審議)
- ・ 2012 年予算
- ・ 2012 年総会資料(審議)
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ 次期役員・理事の選出スケジュール(審議)
- ・ Japan Council 理事会(2011 年第 3 回)報告
- ・ 協賛依頼(審議)
- ・ その他
  - IEEE Japan Office 報告
  - 支部提案 IEEE Milestone 報告
  - IEEE Technical Tour of Japan 進捗状況
  - Award 委員リスト
  - Region 10 Meeting 報告
  - 支部別会員数の推移

第 2 回 7 月 10 日 (火) 汐留シティセンター

出席者 16 名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 会計進捗状況報告
- ・ Japan Council 理事会(2012 年第 1 回)報告
- ・ 次期役員・理事候補者指名の件
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ 協賛依頼(審議)

(総会—第 2 号議案 資料)

- ・ その他
  - Japan Council History Committee 活動報告
  - 支部提案 IEEE Milestone 報告
  - IEEE Technical Tour of Japan 報告
  - MGA SD&EA Meeting 報告
  - R10-HTC2013 への共催参加について

第 3 回 10 月 19 日 (金) 汐留シティセンター

出席者 15 名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ Japan Council 理事会(2012 年第 2 回)報告
- ・ JC 所属 Chapter から Section 所属 Chapter への変更について  
(Japan Council Long Range Strategy Committee)
- ・ 旧東京支部積立金の取り扱いの件(審議)
- ・ 2013/2014 年支部役員・理事候補者の公告結果(報告)
- ・ 会計進捗状況報告
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ 協賛依頼 (審議)
- ・ その他
  - Milestone の状況について
  - R10-HTC2013 への共催参加について
  - 本部委員会委員および Award の Nomination について

第 4 回 12 月 5 日 (木) 機械振興会館

出席者 23 名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2013-2014 年支部理事会・委員会メンバー (審議)
- ・ 2013-2014 年 Japan Council 東京支部代表理事 (審議)
- ・ 2012 年活動報告および 2013 年活動計画 (審議)
- ・ 2012 年決算予想および 2013 年予算 (審議)
- ・ 常設委員会 2012 年活動報告
- ・ Affinity Group 2012 年活動報告
- ・ 協賛依頼(審議)
- ・ 次期理事会への引継ぎ事項
- ・ その他
  - R10-HTC2013 開催準備状況について
  - 新委員と Award について

3. 支部主催講演会

1) 1月17日(火) 16時00分～17時30分 参加者：89名

演題：「世界を動かすシリコンパワー半導体—その発展の経緯と未来」

講師： 中川 明夫氏

中川コンサルティング事務所 技術コンサルタント

2010年 IEEE William E. Newell Power Electronics Award 受賞

IEEE マイルストーン受賞記念講演

2) 1月31日(火) 15時00分～16時50分 参加者：200名

演題1：「IEEE マイルストーンの概要」

講師1： 大野 榮一 氏

IEEE Japan Council History Committee Chair

演題2：「Building a Brighter Beam」

講師2： Dr. David C. Joy

Distinguished Professor, University of Tennessee

演題3：「FEG-TEMによる金属ナノ粒子の構造安定性に関する研究」

講師3： 森 博太郎 氏

大阪大学名誉教授

演題4：「日立 FE-SEM（電界放出形走査電子顕微鏡）の歴史」

講師4： 大林 秀仁 氏

株式会社日立ハイテクノロジーズ 取締役会長、

社団法人半導体製造装置会会長

2010年 Ernst Weber Engineering Leadership Recognition 受賞

3) 3月13日(火) 15時10分～16時10分 参加者：50名

演題：「A Lifelong Challenge in Intelligent Robotics」

講師： 井上 博允氏

東京大学名誉教授

産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター顧問

2011年 IEEE Robotics and Automation Award 受賞

IEEE マイルストーン受賞記念講演

4) 4月5日(木) 13時30分～14時40分 参加者：124名

演題1：「IEEE マイルストーンの概要」

(総会—第2号議案 資料)

講師1： 大野 榮一 氏

IEEE Japan Council History Committee Chair

演題2：「国際標準化に向けた G3FAX の冗長度抑圧符号化技術」

講師2： 山田 豊通 氏

元 NTT 電気通信研究所 武蔵工業大学名誉教授

演題3：「G3FAX における国際標準化の役割と効果」

講師3： 山崎 泰弘 氏

元 KDDI 研究所 東海大学元教授

Gordon Day 会長講演会

5) 4月6日(金) 13時30分～16時40分

参加者：87名

演題：「Thoughts for Young Engineers」

講師： Gordon Day 氏 IEEE President

プレゼンテーション

1. Tokyo GOLD Affinity Group の活動

Tokyo GOLD Affinity Group Chair 大越 康晴

2. Japan Council WIE Affinity Group の活動

JC WIE Affinity Group Vice Secretary 稲森 真美子

3. Tokyo Young Researchers Workshop の活動

Tokyo Young Researchers Workshop Chair 善甫 啓一

4. Student Branch activities の活動

Keio University Student Branch Past Chair 菊田 洸

本講演会は初めてビデオで記録され、ホームページから配信された。

6) 4月9日(月) 16時00分～17時00分

参加者：87名

演題：「デュアル・モード - グローバル化時代のサバイバル・スキル」

講師： 内海 善雄氏

前国際電気通信連合事務総局長

JTEC (財団法人 通信・放送コンサルティング協力) 理事長

トヨタ IT 開発センター 最高顧問、ジュネーブ名誉ブルジョワジー

早稲田大学名誉博士、電子情報通信学会名誉員

2012 IEEE Honorary Membership 受賞

7) 5月28日(月) 13時30分～16時40分

参加者：16名

演題1：「Report on the IEEE Technical Tour Japan」

講師1： 大野 榮一 氏

IEEE Japan Council History Committee Chair

演題2：「IEEE Technical Tour and Historical Activities in Region 8」

講師2： Roland J. Saam 氏

UK&RI LMAG Chair, Region 8 Newsletter Editor

8) 9月19日(水) 16時30分～18時00分 参加者：71名

演題：「Research on the Internet」

講師： 村井 純氏(慶應大学 教授)

2011 IEEE Internet Award 受賞

9) 9月28日(金) 14時00分～16時00分 参加者：50名

演題：「ICTの進化とグローバル化への対応」

講師： 平田康夫氏(国際電気通信基礎技術研究所) 社長

2006年 IEEE Award in International Communication 受賞

10) 10月23日(火) 15時00分～16時15分 参加者：70名

演題：「半導体産業とベンチャーの役割：イノベーション創出の両翼を」

講師： 飯塚 哲哉氏(ザインエレクトロニクス株式会社 代表取締役)

2012年 IEEE Ernst Weber Engineering Leadership Recognition 受賞

11) 11月26日(月) 16時30分～18時00分 参加者：61名

演題：「リチウムイオン電池の開発経緯と将来展望」

講師： 吉野 彰氏(旭化成株式会社 フェロー 吉野研究室長)

2012年 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞

#### 4. その他の会合等

(1) 2012年 Life Members Affinity Group 総会 3月13日(火) 機械振興会館地下2階ホール

参加者：29名

(2) 新 Fellow 表彰式 3月13日(火) 機械振興会館地下2階ホール

新 Fellow 昇格者数：13名(東京支部)

参加者 46名

(3) 「新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー」 3月13日(火) ニュートーキョー

参加者：Award 受賞者、2012年新フェロー、IEEE 役員・理事 他

計 41名

(4) 2012年 Region10 Meeting 3月3日(土)～3月4日(日) インド(カルカッタ)

東京支部からの参加者：青山 Chair、雁部 Vice Chair



(総会—第2号議案 資料)

(6) IEEE Milestone (First Practical Field Emission Electron Microscope, 1972)贈呈式

1月31日(火) 水戸プラザホテル

参加者: IEEE 関係者/招待者、日立ハイテク関係者/招待者 他 計100名

(7) IEEE Milestone (International Standardization of G3 Facsimile, 1980)贈呈式

4月5日(木) 帝国ホテル

参加者: IEEE 関係者/招待者、NTT, KDDI 関係者/招待者 他 計100名

(8) MGA Strategic Direction and Environmental Assessment (SD&EA) Committee Meeting

5月11日(金) 機械振興会館

(9) IEEE Technical Tour of Japan 実施 5月20日~5月28日 参加者: 53名

5. 常設委員会の活動

・ Fellow Nomination Committee

2013年3月1日の Fellow Nomination 締め切りに向け、「より多くのノミネーションを得る」ため、昨年と同様にノミネーション依頼状を11月下旬に再送付した。

IEEE 東京 FNC の Web ページにおいて郵送による申請の該当部分を削除し、電子申請に対応させた。

・ Technical Program Committee

上記3項に示す講演会(11回)を企画実行した。

・ Membership Development Committee

Senior member 数を増やすため、Fellow 候補推薦依頼のメールに、Senior member への昇格申請を関係者に奨励していただく依頼を加えた案内を東京支部事務局より発信した。Publications Committee と連携して、ホームページの Senior member 昇格申請を更新した。

・ Publications Committee

IEEE 入会手続きの更新ほか東京支部ホームページの内容を拡充した。会員へのタイムリーな情報配信サービスとして「Tokyo Bulletin」を9回発行し、東京支部の全会員に配信するとともにホームページに掲載した。

・ Student Activities Committee

1) Keio University Ph.D. Student Paper Contest 2012 (2/27)

2) 第7回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ (6/23)

3) Ericsson Japan ラボ・オフィス見学会 (8/22)

4) 第8回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ (11/17)

5) 第9回 IEEE Tokyo Young Researchers Workshop (11/27)

(総会—第 2 号議案 資料)

- 6) 東京工業大学 2012 Student Paper Contest (9 月～11 月)
- 7) Student Branch Leadership Training Workshop (12/15)

6. Affinity Groupの活動

・Tokyo GOLD

- 1) GOLD/LMAG 交流会：「変化の激しい現実社会と向き合う」(2/23)
- 2) IEEE President Gordon Day 講演会 (4/6)
- 3) 東京支部/LMAG/GOLD 共催講演会 (4/9)
- 4) 第 7 回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ (6/23)
- 5) 東京支部/LMAG/GOLD 共催講演会開催 (9/28)
- 6) 理系大学生・大学院生のためのキャリアアップワークショップ (10/6)
- 7) 第 4 回キャリアアップワークショップに関するエッセイコンテスト (10/17)
- 8) 第 8 回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ (11/17)
- 9) 第 9 回 IEEE Tokyo Young Researchers Workshop への協力 (11/27)

・LMAG

- 2) Newsletter 第 4 号発行／HP 掲載 (1/25)
- 3) GOLD/LMAG 交流会：「変化の激しい現実社会と向き合う」(2/23)
- 3) LMAG 総会 (3/13)
- 4) Newsletter 第 5 号発行／HP 掲載 (3/16)
- 5) 東京支部/LMAG/GOLD 共催講演会 (4/9)
- 6) Newsletter 第 6 号発行／HP 掲載 (5/23)
- 7) 東京支部/LMAG 共催講演会開催 (9/28)
- 8) Newsletter 第 7 号発行／HP 掲載 (10/25)

以上

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	239	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	99	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	19	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	153	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Student

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	513	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	319	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	154	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	400	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	257	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	173	1.33	4	505	754	9,749	757	1,364
2008	13,346	213	1.62	4	513	761	9,804	723	1,541
2009	13,674	328	2.46	4	515	761	10,054	696	1,644
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2011	13,872	102	0.74	4	521	826	10,128	712	1,681
2012	14,298	426	3.07	4	528	875	10,449	617	1,825

## IEEE東京支部2012年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	会計報告 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
<b>収入の部</b>				
◆IEEE 本部勘定	12,453,800	13,614,021	109	
・支部リベート	2,233,800	2,343,144	105	10/1に受取 (\$30,462.1@76.92=¥2,343,144)
・Section Assessment	10,220,000	11,270,877	110	前期分：\$131,658.90@¥81.13 (3月30日) 後期分：\$7,508.17@¥78.50 (11月12日)
◆雑収入	20,000	3,989	20	受取利息
◆その他	-	1,679,647	-	Milestone Plaque代企業より受取, LMAG Fund より支援費, SD&MA会議費
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
収入合計	12,473,800	15,297,657	123	
<b>支出の部</b>				
◆Councilへの拠出金	10,220,000	11,267,877	110	手数料3,000円 (前期+後期)
◆会合費	1,280,000	2,444,628	191	
・総会費	560,000	633,505	113	総会資料印刷代/懇親会費/Fellow記念品を含む
・講演会費	400,000	1,122,481	281	Day会長講演会ビデオ作成費を含む
・理事会費	80,000	93,086	116	資料送付, 第4回理事会会場費等
・その他会合費	240,000	595,556	248	Milestone, SD&MA(15万円立替), TTJ, HTC関連Meeting費
◆Committee活動費	80,000	279,100	349	LMAG Newsletter発行費用 (\$1,000は本部から支援)
◆TOKYO GOLD支援費	160,000	175,942	110	ワークショップ支援費
◆Student Branch支援費	800,000	520,012	65	ワークショップ/論文コンテスト支援費
◆事務局設備費	240,000	1,549	1	
◆ITサービス運用費	1,000,000	859,950	86	ハウジング費用/常駐保守
◆通信費	40,000	6,120	15	切手代等
◆支払手数料等	350,000	360,890	103	銀行手数料, 貸金庫手数料, 監査費用(本部から支援) 等
◆予備費	400,000	601,523	150	2011 Milestone Plaque代立替分の \$5,670はRebate受領時に相殺 2012 Milestone Plaque代：企業より受取済み, 2013年Rebateにて支払予定
支出合計	14,570,000	16,517,591	113	
<b>収支</b>	-2,096,200	-1,219,934		
◆前年度繰越金	4,080,883	4,080,883	100	
◆次期繰越金	1,984,683	2,860,949	144	

## 財産目録

科 目	2012年12月31日	2011年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	2,860,949	4,080,883
○定期預金	16,698,001	16,698,001
◇現金・預金合計	19,578,950	20,798,884
◇その他流動資産		
流動資産合計 :	19,578,950	20,798,884
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品		
◇減価償却累計額		
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	19,724,550	20,944,484
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計 :		
3. 正味財産	19,724,550	20,944,484
負債および正味財産合計 :	19,724,550	20,944,484
<b>Statement of Activities</b>		
I. 収益の部		
◇支部レポート	2,343,144	2,325,998
◇Section Assessment	11,270,877	11,345,158
◇その他(Milestone銘板代立替分/監査費立替分)	1,679,647	341,092
◇受取利息	3,989	5,377
◇Section Congress支援費		
◇雑収入		
収益合計 :	15,297,657	14,017,625
II. 費用の部		
◇会合費	2,444,628	1,294,733
◇Student Branch支援費	520,012	1,790,886
◇GOLD支援費	175,942	1,111,575
◇Committee費	279,100	122,750
◇Japan Councilへの拠出金	11,267,877	11,342,158
◇事務局費および一般管理費	1,228,509	1,630,436
◇予備費	601,523	354,595
◇Milestone Plaque費用		
◇減価償却費		
費用合計 :	16,517,591	17,647,133
正味財産増減額	(1,219,934)	(3,629,508)
期首正味財産	20,944,484	24,573,992
期末正味財産	19,724,550	20,944,484
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
◇支部レポート	2,343,144	2,325,998
◇Section Assessment	11,270,877	11,345,158
◇予備費(Milestone/Section Congress)	1,679,647	341,092
◇受取利息	3,989	5,377
◇雑収入		
収入合計 :	15,297,657	14,017,625
II. 支出の部		
◇会合費	2,444,628	1,294,733
◇Student Branch支援費	520,012	1,790,886
◇GOLD支援費	175,942	1,111,575
◇Committee活動費	279,100	122,750
◇Japan Councilへの拠出金	11,267,877	11,342,158
◇事務局費および一般管理費	1,228,509	1,630,436
◇予備費(Milestone/Section Congress)	601,523	354,595
◇固定資産等購入		
支出合計 :	16,517,591	17,647,133
現金・預金増減額	(1,219,934)	(3,629,508)
期首現金・預金残高	20,798,884	24,428,392
期末現金・預金残高	19,578,950	20,798,884

## Japan Council 2012年会計報告

単位：日本円

	2012年予算 (1/1～12/31)	決算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
<b>収入の部</b>				
◆IEEE本部勘定	792,638	793,045	100	予算ではUS\$1=¥77を適用
・Chapter (WIEも含む) Rebate	792,638	793,045	100	US\$10,310.00@¥76.92
◆各支部よりの拠出金	18,480,000	19,857,232	107	US\$247,758.53 平均@¥80.20
・札幌支部		340,241	-	前期分：US\$4,199.33 @¥81.38(換金手数料¥1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・仙台支部		969,842	-	前期分：US\$12,448.24 @¥77.91 (後期分：次年度の前期に請求。)
・信越支部		366,012	-	前期分：US\$4,516.00 @¥81.38(換金手数料¥1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・東京支部		10,679,986		前期分：US\$131,658.90 @¥81.13(換金手数料¥1500) 後期分：US\$7,508.17 @¥78.50(換金手数料¥1500)
・名古屋支部		1,717,988	-	前期分：US\$21,782.22 @¥78.94(換金手数料¥1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・関西支部		3,003,651		前期分：US\$37,484.74 @¥80.17(換金手数料¥1500) 後期分：US\$1,378.72 @¥77.30(換金手数料¥1500)
・広島支部		701,372	-	前期分：US\$9,051.80 @¥77.65(換金手数料¥1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・四国支部		293,460	-	前期分：US\$3,785.91 @¥77.91(換金手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・福岡支部		1,091,714	-	前期分：US\$13,944.50 @¥78.29 (後期分：次年度の前期に請求。)
◆雑収入	4,000	1,585	40	受取利息等
◆その他	786,010	189,000	24	本部より監査費用受領 *敷金返却は2011年度に計上済み
収入合計	20,062,648	20,840,862	104	
<b>支出の部</b>				
◆事務局費	12,260,000	13,355,530	109	
・給料諸給	8,000,000	8,693,412	109	交通費、労働保険、所得税を含む
・臨時雇費	-	-		
・事務所賃借料	2,900,000	2,706,843	93	管理費、光熱費を含む
・事務所設備費用	100,000	597,649	598	事務局IT環境の整備費用を含む (2011年度PC新規購入分20万程度が2012年度に遅れて計上)
・通信費	200,000	141,968	71	
・交通費	10,000	20,330	203	打ち合わせの回数が増加 (TTJなど)
・事務用品費	50,000	28,822	58	
・事務機器レンタル費	750,000	741,150	99	コピー機/ファックス機/コピー機-使用料等 TTJ, HTC関連資料増加分
・支払手数料等	250,000	425,356	170	銀行手数料、監査費用立替
◆会合費	1,500,000	2,670,732	178	
・理事会・各委員会費	1,400,000	2,374,199	170	参加旅費を含む (JC理事会、各委員会)
・その他会合費	100,000	296,533	297	TTJ関連費用
◆Section支援費	1,500,000	1,642,685	110	仙台、名古屋、関西、広島、四国、福岡、信越
◆Chapter支援	5,500,000	4,671,401	85	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	1,000,000	992,223	99	SBLW(明治大学開催)
◆WIE支援費	300,000	507,878	169	4件分
◆予備費	20,000	200,000	1,000	HTC準備金拠出
支出合計	22,080,000	24,040,449	109	
収支	-2,017,352	-3,199,587		
◆前年度繰越金	5,031,498	5,031,498	100	
◆次年度繰越金	3,014,146	1,831,911	61	

## 2013 年 活動計画

### 1. 財政運営

長い間続いた円高の影響で実質予算が減少し、過去の留保を消化する赤字体質が続いて留保も残り少なくなっている。昨年後半から円安傾向になり、幾分かの改善は期待できるが財政の健全化のため東京セクションとしては理事会で決定された予算内での運営をこころがける。

### 2. 東京支部 Chapter の設立

現在 Japan Council に所属している各 Chapter を適切なセクションに所属させる検討が進んでいる。東京支部もこの移行を引き受ける意味で Chapter 設立支援委員会を中心に Chapter の設立を進める。

### 3. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 4. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

### 5. 委員会活動

#### 5-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学(2012年10月設立)の10校で、日本全国の学生ランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学があり(全国合計 24 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参

加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

#### 5-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き **Membership Development Committee** の活動の活性化に努め、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (**Fellow + Senior Member**) の比率が、**IEEE** の全体平均より低水準にあることを踏まえて、**Senior Member** の増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

#### 5-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「**WEB** を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年と同様に、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、**Fellow**、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、**Fellow** への昇格数の増加を図る。

#### 5-4. 東京支部講演会の開催

**Technical Program Committee** の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。**LMAG**、**GOLD** ほか各グループとの共催を積極的に推進する。また、ビデオでの記録および配信など新しい工夫を試みる。

#### 5-5. 会員への情報提供

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。**Publications Committee** が発行する **IEEE Tokyo Bulletin** (日本語、英語) を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

#### 5-6. 若手会員および Life 会員向け活動の活性化

2008 年 11 月に設立された **Tokyo GOLD Affinity Group** を中心に、学部卒業後 10 年間の **GOLD (Graduate of Last Decade)** 会員向けの活動を活性化させる。

2010 年 10 月に設立された **Tokyo Life Members Affinity Group** を中心に、**Life** 会員自身の活動の活性化を支援する。また、**GOLD**、**LMAG** に加えてさらに **JC WIE** との連携・交流を推進する。



6. 本部および Region 10 との連携強化

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

R10-HTC2013 に参画するほか各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

7. 2013 年理事会/総会開催日程

第一回理事会/総会： 3月14日(木)

第二回理事会： 6月6日(木)

第三回理事会： 9月12日(木)

第四回理事会： 12月5日(木)

以上

## IEEE東京支部2013年予算

単位：日本円

	2013年予算案 (1/1～12/31)	備考
<b>収入の部</b>		
◆IEEE 本部勘定	15,341,400	US\$1=¥90を想定
・支部リベート	2,741,400	US\$30,460 (Gross) を想定
・Section Assessment	12,600,000	US\$140,000 (Gross) を想定
◆雑収入	40,000	受取利息等
収入合計	15,381,400	
<b>支出の部</b>		
◆Councilへの拠出金	12,600,000	Section Assessment全額
◆会合費	650,000	
・総会費	500,000	資料印刷代/会場費
・講演会費	100,000	
・理事会費	50,000	
・その他会合費	-	
◆Committee活動費	50,000	HP制作費、LMAG活動費等
◆Tokyo GOLD活動費	130,000	
◆Student Branch支援費	1,000,000	ワークショップ、SBLW参加交通費支援
◆事務局設備費	-	
◆ITサービス運用費	860,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	5,000	宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	150,000	銀行手数料等
◆予備費	820,000	2012年Milestone Plaque代：企業より受取済 2013年Rebateにてを相殺予定のため
支出合計	16,265,000	
収支	-883,600	
◆前年度繰越金	2,860,949	
◆次期繰越金	1,977,349	

**2013年東京支部新Fellow Citation**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	新井 宏之 Hiroyuki Arai	横浜国立大学	<i>for contributions to the design and analysis of low profile antennas for mobile communications</i>
2	東京	Andrzej Cichocki アンジェイ・チホツキ	理化学研究所	<i>for contributions to applications of blind signal processing and artificial neural networks</i>
3	東京	榎木 孝知 Takatomo Enoki	NTT	<i>for contributions to compound semiconductor high speed integrated circuits for optical and wireless communication systems</i>
4	東京	廣瀬 明 Akira Hirose	東京大学	<i>for contributions to theory and radar applications of complex-valued neural networks</i>
5	東京	川西 哲也 Tetsuya Kawanishi	情報通信研究機構	<i>for contributions to high-speed and precise lightwave modulation technologies</i>
6	東京	菊池 和朗 Kazuro Kikuchi	東京大学	<i>for contributions to coherent optical communication systems</i>
7	東京	喜連川 優 Masaru Kitsuregawa	東京大学	<i>for contributions to high performance database technology</i>
8	東京	丹羽 正昭 Masaaki Niwa	東北大学	<i>for contributions to CMOS technology using high dielectric constant materials and metal gate</i>
9	東京	納富 雅也 Masaya Notomi	NTT物性科学基礎研究所	<i>for leadership in the development of photonic crystals and applications</i>
10	東京	大木 英司 Eiji Oki	電気通信大学	<i>for contributions to high-performance packet switching and path computation technologies</i>
11	東京	佐藤 拓朗 Takuro Sato	早稲田大学	<i>for contributions to W-CDMA cellular standardization</i>
12	東京	田村 泰孝 Hirotaka Tamura	富士通研究所	<i>for contributions to technology for high speed interconnects</i>
13	東京	土屋 治彦 Haruhiko Tsuchiya	山梨大学	<i>for contributions to single-mode optical fiber transmission</i>

## 2013年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	仙台	加藤 寧 Nei Kato	東北大学	<i>for contributions to satellite systems and network intrusion detection</i>
2	名古屋	谷本 正幸 Masayuki Tanimoto	名古屋大学	<i>for contributions to the development of free-viewpoint television and its MPEG standard</i>

## 2013年 IEEE Medal/Award 日本人受賞者

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	高橋 恒夫 (エヌエフ回路設計 ブロック)	<i>For pioneering the development of navigation technology in automobiles.</i>
2	IEEE Andrew S. Grove Award	高木 信一 (東京大学)	<i>For contributions to the understanding of transport properties in inversion layers of high-performance MOSFETs.</i>
3	IEEE Nikola Tesla Award	高橋 則雄 (岡山大学)	<i>For contributions to finite element modeling, analysis, and optimal design tools of electrical machines.</i>
4	IEEE Leon K. Kirchmayer Graduate Teaching Award	秋山 秀典 (熊本大学)	<i>For excellence in graduate teaching, curriculum development, inspirational research guidance, and development of widely used textbooks in pulsed power.</i>

## **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Promotion
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $\frac{2}{3}$ ) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

- 
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 15 December 2006.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)